

2023年度(令和5年度)
国内放送番組編集の基本計画

メディア総局

NHK

編集の基本方針 ～新しいNHKらしさの追求～

スリムで強^{じん}靱な新しいNHKを目指す経営計画(2021－2023年度)の修正では、受信料の値下げや保有するメディアの整理の内容を公表しました。これを契機に、これまで以上に視聴者のみなさまの期待や関心を的確に把握すること、NHKの強みをさらに発揮することで、経営資源を最適に配分します。そして、放送・サービスの質を向上させ、NHKの公共的価値を実感していただけるよう尽力します。

そのために、今、私たちがなすべきことは、すべての放送・サービスの起点を視聴者のみなさまとすることです。これにより初めて、あらゆる人に、正確で安全・安心につながる情報と多彩で良質なコンテンツを届け、「情報の社会的基盤」としての機能を果たしていくことができます。また、引き続き、持続可能な社会、共生社会の実現を後押しするために、公共的な役割を果たしていきます。

メディア環境と視聴スタイルが大きく変化し、情報空間は放送以外にも広がっています。放送・デジタル・イベントなどが連動したコンテンツやサービスを創造し、新しいNHKらしさを追求します。そのために重点を置くべき事項として次の4つを定めます。そして、「放送ガイドライン」に定めた基本的な姿勢を再確認し、放送倫理やコンプライアンス意識を徹底することで、みなさまの信頼を得られるよう努めます。

2023年度 4つの重点事項

1. デジタル時代に新たな公共性を確立
2. 時代を超えるNHKならではのコンテンツを提供
3. 地元密着と地域連携を強化
4. 映像・音声資産の再構築と価値還元

4つの重点事項の具体的施策

1. デジタル時代に新たな公共性を確立

■ 信頼できる情報で安全・安心な暮らしに貢献

新たな段階を迎えた新型コロナウイルス感染症への対応、科学的根拠に基づく医療・健康情報の解説、ウクライナへの軍事侵攻や円安による物価高騰対策、揺らぐ国際秩序の行方の展望など、確かで多様な情報を、放送とデジタルコンテンツを適切に組みあわせて、みなさまの利用しやすい形で提供します。

■ 情報空間が拡大する中での新たな公共性を追求

デジタル化が社会で急速に進展し、いつでもどこでも多くの情報を取得できるようになるなど、恩恵を得られるようになった一方で、情報空間全体における健全性確保の問題が浮かび上がっています。これらを解決するために、意見の分断の可視化や、正確で公平・公正な、軸となるべき情報の提供、多様な価値観に対する相互理解の促進など、公共的な役割を果たします。

■ 激甚化する大規模災害に備え防災・減災情報をきめ細かく提供

ニュースや番組で避難の呼びかけをいち早く行うだけでなく、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進で、取材原稿や映像をハザードマップに表示して分かりやすく伝えたり、最先端のAI技術を活用したユニバーサル放送を充実させたりするなど、一人ひとりの命を守る備えにつながる情報を、きめ細かく提供します。

■ あらゆる世代の学びを支援するトータルサービスを充実

子どもを中心にすえた学びの多様化への支援、コミュニティーの創出、メディアリテラシーの向上、幅広い教養の獲得や深い学問の探究、学び直しといった大人の知的好奇心を満たすコンテンツの強化など、子どもから大人まであらゆる世代の学びを支えるために、放送の充実とインターネットサービスの統合を進めます。

■ 視聴者のみなさまとの共創で新たな価値を創造

医療・健康情報をはじめ、教育コンテンツなどの関連データの一部オープン化や、対話の場の提供、デジタル調査・報道を通じた共創など、視聴者のみなさまとともに新たな公共性を探り、民主主義の発展に寄与します。

2. 時代を超えるNHKならではのコンテンツを提供

■ メディア環境の変化と視聴スタイルの多様化への対応

多岐にわたる視聴者のみなさまの期待や関心に応えるために、放送・デジタル・イベントを駆使して、報道、教育、福祉、教養、ドラマ、エンターテインメントなど多彩なジャンルで豊かで質の高いコンテンツを取りそろえます。

■ NHKの強みを発揮したコンテンツを制作

複数年に渡って1つのテーマを多角的に掘り下げるシリーズや、新しい分析手法、最新技術を活用したドキュメンタリーなど、NHKの公共的役割に資する高品質なコンテンツを4Kの超高精細映像でも制作し、みなさまに届けます。

■ 将来世代まで残る世界水準のコンテンツを追求

最先端の技術を駆使し、合理的なコストで海外競争力のある4Kドラマ、音楽、ドキュメンタリーを制作。国際共同制作では有力パートナーと協力関係を構築し、世界のコンテンツ業界で存在感を発揮します。

3. 地元密着と地域連携を強化

- **地域の発展を全国ネットワークで支援**

地域の課題解決や地域を応援する各地の放送局の取り組みを全国発信。日本全体が直面する人口減少社会などの課題については、NHKならではの全国ネットワークを生かし、一体となって解決の道筋を探ります。また、日本全国それぞれの地域の伝統や文化など、日本の多様性も次世代にしっかり伝えていきます。

- **スポーツや参加型イベントの地元密着を強化**

地域を舞台としたスポーツや全国で開催する参加型イベントを、本部と各地の放送局が協力して地元の視点で応援。放送・デジタル・イベントを連携させて、地域の一体感を盛り上げます。

- **地域活性化を目指し地元の仲間と連携**

多くの視聴者のみなさまに支持されているコンテンツを軸としたイベントや出前授業などを開催し、地域のみなさまの期待や要望に応えます。実施にあたっては、自治体や大学、ケーブルテレビなど、地域活性化への思いを共有する事業体との連携を深めます。

4. 映像・音声資産の再構築と価値還元

- **今を生きるヒントにアーカイブスを活用**

2025年に迎える放送開始100年を前に、NHKならではのドラマやドキュメンタリー、インタビューといったアーカイブスをかけがえのない社会共有の財産として、視聴者のみなさまに還元します。

- **映像・音声資産に新たな価値を吹き込む工夫**

ドラマ、音楽、ドキュメンタリーの名作を4Kリマスター技術でよみがえらせるとともに、各界の第一人者に現代の視点からの読み解きを加えてもらうなど、コンテンツ制作のノウハウを生かして、アーカイブス映像・音声に新たな付加価値をつけ提供します。

各波の編集方針

	編集方針	- 定時番組における放送時間- 放送番組の種別ごとの編成比率
総合テレビ G	公共メディアの基幹波。暮らしの安全を支える「信頼できる情報」の担い手の役割を果たし、正確・迅速かつ公平・公正で社会の指針となるニュースや、文化・娯楽・スポーツなどの多彩な番組を編成します。また、さまざまな手法で社会的な課題の解決に取り組むなど、公共的価値を提供します。	-1日24時間を基本とします- ・教養番組20%以上 ・教育番組10%以上 ・報道番組35%以上 ・娯楽番組20%以上を編成します
教育テレビ (Eテレ) E	子どもから大人までの学びを支援するチャンネル。幅広い世代に向けた教育、福祉、教養、趣味、実用など、多彩な番組を編成します。番組とインターネットとの連携強化、配信コンテンツの充実も継続して、視聴者のライフスタイルに寄り添い多様な形で学びの機会を提供します。また、誰もが楽しめるユニバーサル放送・サービスをより充実させます。	-1日19時間を基本とします- ・教養番組15%以上 ・教育番組75%以上 ・報道番組若干を編成します
BS1 BS1	地球的視点から「いま」に深く迫るチャンネル。緊迫する世界情勢やグローバル経済の動向、刻々と変化する世界や人々の動きを、正確かつ多角的に伝えるニュースやドキュメンタリーを編成します。また、関心の高いスポーツ番組を多彩に放送します。	-1日24時間を基本とします- ・教養番組20%以上 ・教育番組10%以上を編成します
BSプレミアム BSP	個性と見ごたえを追求した知的エンターテインメントチャンネル。自然、紀行、歴史、芸術、ドラマなど、幅広いジャンルの魅力あふれる番組を提供します。衛星波の再編に向けては、BS4Kとの同時放送で4K視聴へ誘うとともに、BSプレミアムならではの番組のバラエティの豊かさを維持し、引き続き、2Kでお楽しみいただくみなさまにも満足いただける放送を実施します。	-1日24時間を基本とします- ・種別ごとの編成比率は特に定めません
BS4K BS4K	超高精細映像コンテンツの先導的な役割を果たすチャンネル。衛星波の再編に向けて、自然、紀行、歴史、芸術、ドラマなど、幅広いジャンルの特集番組を強化するほか、長時間の中継など大型特集を編成し、4Kならではの見ごたえと満足度を追求します。良質なアーカイブスの4Kリマスター版も含め、多彩な番組を4Kで日常的にお楽しみいただくことを目指します。	-1日21時間を基本とします- ・種別ごとの編成比率は特に定めません
BS8K BS8K	世界最先端の映像メディアチャンネル。視聴者にとって新しい映像体験となるような多彩なジャンルの特集番組を提供します。また、貴重な文化財や優れた芸術を未来に伝えるために最高水準の8K映像で記録し、放送以外の手段でも提供して、社会貢献の役割を果たします。	-1日12時間10分を基本とします- ・種別ごとの編成比率は特に定めません

	編集方針	-定時番組における放送時間- 放送番組の種別ごとの編成比率
ラジオ第1 R1	安全・安心を担う音声基幹波。 命と暮らしを守る情報をいち早く届けます。 また、多様なジャンルの番組をバランスよく提供し、さまざまな世代のリスナーに支持されるよう編成します。	-1日 24 時間を基本とします- ・教養、教育番組あわせて 25% 以上 ・報道番組 35% 以上 ・娯楽番組 20% 以上を編成します
ラジオ第2 R2	いつでもどこでも学べる生涯学習波。 多様な知的欲求に応える番組を編成するとともに、語学番組の充実、インターネットサービスとの効果的な連携を図り、リスナーのみなさまに利用しやすい形で学びの機会を提供します。	-1日 19 時間を基本とします- ・教養番組 15% 以上 ・教育番組 65% 以上 ・報道番組 10% 以上を編成します
FM FM	リスナーの興味・関心に深く応える専門チャンネル。 音楽・芸能を中心に文化・教養まで、幅広いジャンルで専門的な番組を編成します。また、災害などの緊急時には、ラジオ第1放送とも連携して機動的な編成を行います。	-1日 24 時間を基本とします- ・教養、教育番組あわせて 40% 以上 ・報道番組 10% 以上 ・娯楽番組 25% 以上を編成します

※2023年度末に衛星波は2Kのうち1波を削減します。衛星波の再編にあたっては、みなさまの利便性を損なわず新たな魅力を創出できるよう、4月からの番組編成に工夫をこらします。

また、12月から新BS2K(仮称)、新BS4K(仮称)が誕生する際には、2K・4Kそれぞれの特性を踏まえるとともに、地上波を含めた映像波トータルでコンテンツの充実を図ります。

<2023年12月～>

	編集方針	-定時番組における放送時間- 放送番組の種別ごとの編成比率
新BS2K (仮称)	BS1とBSプレミアムのエッセンスを凝縮したライブ感重視のチャンネル。 迅速で専門性の高い国際・経済ニュースといった報道、多彩なスポーツ、衛星波ならではのみなさまのさまざまな関心に応えるドキュメンタリー・ドラマ・エンターテインメントなど、バラエティ豊かに編成します。	-1日 24 時間を基本とします- ・教養番組 20% 以上 ・教育番組 10% 以上を編成します
新BS4K (仮称)	本物感・臨場感あふれる映像文化の殿堂。 自然、紀行、歴史、芸術、ドラマ、生中継など、超高精細映像の特徴を生かした見ごたえのあるコンテンツを多彩に取りそろえます。また、NHKが保有する貴重な映像資産を4Kリマスター技術でよみがえらせて、新たな価値を付加したアーカイブス番組として提供します。	-1日 24 時間を基本とします- ・種別ごとの編成比率は特に定めません